

教育部 科技部印发《关于规范高等学校 SCI论文相关指标使用 树立正确 评价导向的若干意见》的通知

「単科大学および総合大学における SCI論文に関する指標の
使用規制と、正しい評価の方向性の樹立について」
教育省・科技省の通知（2020年2月20日）

SCI : Science Citation Index, トムソンロイターの文献の索引システム

2020年8月29日

日本学術会議主催 学術フォーラム

「学術振興に寄与する研究評価を目指して」

日本学術会議第三部会員・東京大学大学院化学専攻特別教授

中村 栄一

文革後の中国の科学技術への梃子入れ

2020年2月、中国教育部（日本の省にあたる）および科学技術部（省）は、「**SCI (Science Citation Index)** 論文至上主義」を規制する通知を発出した。「高等教育機関の**SCI**論文関連指標使用規範化と正しい評価ガイドライン確立に関する若干の意見」と題するこの通達は新しい評価制度の早期確立を大学および関係機関に要求するものである。

文化大革命で滞った学術および応用研究の梃子入れを目的に、中国は**1980**年代後半から巨額の資金および人的資源の継続的投下によって、研究環境の大幅改善と大学教員および研究者（以下、「研究者」と言う。）の研究水準と人事待遇の向上を実現し、論文・特許の総数および被引用回数などで世界のリーダーに躍り出た。この過程では研究能力開発に関して様々な試行錯誤が行われたが、近年その基盤としたのが、**SCI**が提供する論文数値指標の活用である。端的に言うと、引用数の多い学術雑誌に引用数の多い論文を発表した研究者と研究機関を優遇する政策である。

中国における「**SCI**論文至上主義」の是正

その結果として、国際的プレゼンスは大きく向上したが、一方で、学位審査から人事考査、研究費配分、大学や研究機関のランキングに至るあらゆる目的に**SCI**指標が使用されることの弊害が目立つようになった。研究生産性を重視する余り、本来の評価目的である研究者の能力開発や大学院教育が疎かになり、また論文発表に注目する余りに実社会に役立つイノベーションの創出が滞ったという反省が生まれた。そこで**2020**年2月、中国教育部（日本の省にあたる）および科学技術部(省)から発せられたのが、「**SCI**（**Science Citation Index**）論文至上主義」を規制する通達である。この通達は「**SCI**論文至上主義」を排して、研究者の能力開発をより効果的に実現するための評価制度の確立を大学および関係機関に要求するものである。

2020年以降の新しい評価システムの確立

具体的には様々な研究評価において、**SCI**関連指標を直接的な評価指標にしないこと、研究分野の特徴に留意しながら透明性の高いピアレビューシステムを確立すること、戦略的視点を持つ専門家の養成などを謳っている。基礎研究については論文の革新性と科学的価値、応用研究と技術革新では新技術・新製品創出、および実質的な産業貢献が重要であるとした。また、評価項目を大幅削減し、合理的な審査システムに戦略的視点を持つ専門家を配置し、審査員の過度の負担を避けながらも十分な審査時間を確保するとした。さらに、**SCI**論文指標を個人報酬に直接連動させない、**SCI**指標を学生の学位授与の条件としない、また数値指標のランキングを公表せず、研究者、専門分野、および大学評価にも使用しない、など具体的事項が述べられている。**2020**年7月末を目途に改善案の提出が求められており、その結果にも大きな注目が集まるであろう。

「推動高等学校回帰學術初心， 淨化學術風氣，優化學術生態」

學術の初心(私見)：

學術：ワクワクとさせる未知の概念を明らかにする

応用：人々が直面する課題を解決する手法を見つける

組織評価：成果の出ない組織は研究者にとって楽しくない

個人評価：組織の未来を託せる人を捜しだす

その後の通知：

科技部 自然科学基金委关于进一步压实国家科技计划（专项、基金等）任务承担单位科研作风学风和科研诚信主体责任的通知

国科发监[2020]203号（2020年07月17日）